

文京区つわのこどもキャンプ2024

自然体験プログラム実施要項
(申込前資料)

プログラム企画・実施

NPO法人ミライノタネ

島根県鹿足郡津和野町枕瀬265



<冒険の案内>

はるか昔から人類は、
木を植え、育て、収穫し、使いながら、
豊かな森林を暮らしに役立ててきた。

それからテクノロジーが急速に発展し、
人々の生き方が多様になってきた2024年。

現代の私たちの暮らしは
森林とどう関わっているだろうか？

木の製品を使うことは当たり前になっているが、
みんなは森林のことを
どれくらい知っているだろうか？

実はいま、森林はたくさんの問題を抱え、
私たちの生活も危ないかもしれない。

そんななか、ピンチをチャンスに変えるべく
さまざまなチャレンジをしている町がある。

キーワードは
「森林の循環」

私たち一人ひとりが自分なりの形で
「森林の循環」を創り出し
森林の新しい未来を創ることができる。
そう信じて挑む人たちがいる。

君も森林に来て
自分の手足と心でワクワクを体感し
一緒に未来を描いてみよう！

<プログラム概要>

◎タイトル 文京区つわのこどもキャンプ2024

◎テーマ ツワノの森林から自然の恵みを学ぶ！
忘れられない夏の冒険に出かけよう！

◎概要 津和野の豊かな自然環境のなかで、津和野の大人や子どもと交流しながら「森林資源の循環」を体感できるプログラムです。普段の暮らしでは感じることが少ない自然の大切さを体感し、津和野との繋がりができるような交流機会をつくることを目的に実施します。

◎日程 令和6年8月24日（土）～26日（月） 2泊3日
1日目～2日目午前は津和野の子どもたちと一緒に活動します。

◎場所 島根県津和野町・益田市
（枕瀬山キャンプ場・枕瀬山友好の森・バイオマス発電所・高津川 東枕瀬地区の河原・ブドウ園等）

◎その他 ・キャンプ最終日にレポート（ふりかえりシート）を記入して提出いただきます。レポートの一部を各団体のHP等に記載することがあります。
・後日、津和野町の野菜などの特産品を、お土産として各ご家庭へ郵送します。

◎実施団体 NPO法人ミライノタネ

令和元年5月に島根県の津和野町日原地域で発足しました。
「子どもたちに自然の中で好きなだけ遊ぶ体験と、良質な学習時間を提供し、田舎を存分に活かした教育環境をつくろう。」
「子どもだけでなく、大人も一緒に本気で楽しみ挑戦できる場をつくり、子育てが楽しくなるような地域を目指そう。」
そんな想いで活動しています。



<文京区と津和野町について>

文京区と津和野町は、津和野町で生まれ、文京区でその生涯を閉じた文豪森鷗外をゆかりに、文化振興や災害応援に関する協定を締結しています。

「森林のない文京区の子もたちに、自然豊かな津和野町の魅力を五感を通して感じてもらい、日本が抱える自然環境への問題意識を認識してもらいたい。」
そんな思いで、このプログラムをNPO、津和野町と協働して実施しています。

※ 本事業は文京区の森林環境譲与税を活用している事業となります。



＜活動の流れ（しおり掲載）＞

Day 1	Day 2	Day 3
飛行機で島根へ移動 車&徒歩で移動 はじまりミーティング 昼食 テント張り 川遊び ドラム缶風呂・シャワー 夕食 天体観測	ご飯づくり 朝食 森林遊び・植樹体験 ワークショップ 昼食 林業体験 ドラム缶風呂・シャワー 夕食 キャンプファイア	朝食 テント片付け・荷物整理 バイオマス発電所見学 森林関係者トーク 昼食 ふりかえりミーティング 車で移動 ブドウ園（益田市）見学 飛行機で東京へ移動

※ 詳細な行程については、チラシ裏面にございます。

<活動体制>

- ・男女別で4～6人で1つの班をつくり、そこにグループスタッフが1人ついて活動します。人数確認、移動、ミーティング、食事、テントでの就寝、一部の活動は班ごとに行います。
- ・1日目～2日目午前中までは津和野町内の子どもも参加し一緒に活動します。班も合同で編成し、一緒に宿泊します。2日目午後からは文京区の子どもだけで班を再編成します。
- ・体験プログラムは班ごとではなく全体で活動する場合があります。その際スタッフは活動内容、子どもの人数等に応じて配置を変えて見守ります。
- ・当団体の運営者は野外活動の講習や、救急救命講習を受講し、安全管理の知識・経験をもとにキャンプの運営を行います。
- ・スタッフ（地域住民や学生等）は全員、事前のミーティングにて、安全管理や子どもとの関わり方、野外活動のスキルについて研修を受けてから参加します。

<運営体制>

キャンプディレクター

プログラムディレクター

フードスタッフ
1~3名

プログラムスタッフ
(林業講師等)
5~8名

ナース
(看護師資格有)
1名

グループ
スタッフ
1名

小学生
グループ
4~6名

※グループは男女別、2日目午前までは津和野町の子どもと混合で編成

<安全管理・健康管理の体制について>

- ・食物アレルギーについてはあらかじめお伝えいただいたアレルギーを起こす物質（アレルゲン）を避ける対応をします。ただし、代替の食事として、通常メニューと同等レベルのものを提供することができない場合もありますこと、ご了承ください。
- ・活動の前後や休憩時、毎晩寝る前と朝起きたあとに全員の健康チェックを行います。
- ・活動するフィールドは下見を入念に行い、予測可能な危険（ハザード）は事前に取り除きます。（草刈り、蜂の巣の確認など）
- ・熱中症予防のため、活動中はこまめに休憩を入れ、水分補給の呼びかけ、塩飴等の配布を行います。給水タンクにスポーツドリンクと麦茶を常備していますので、水筒が空になったら補充できます。水筒は毎晩、洗浄します。
- ・食中毒予防のための食材の適切な管理と、食事前のせっけんでの手洗いを徹底します。肉などは生焼けのものがないかどうか入念に確認します。
- ・スタッフ見守りの元、包丁やのこぎり、切出しナイフ等の刃物や、かなづちを使用する場合があります。
- ・林業体験の際は、全員ヘルメットの着用を徹底します。斧やチェーンソーを使用する木材加工体験は、経験を積んだスタッフの個別指導・見守りの元で、希望者のみ実施します。
- ・川での活動では上流、下流、全体を見渡せる場所、飛び込み箇所など、所定の位置に人員を配置し、常に人数確認を徹底します。活動エリアはロープで区切りを設けるなどして、大人の死角に行くことがないように見守り、声掛けを徹底します。また、泳ぎが得意な子も含めて全員、ライフジャケットの着用を徹底します。

<フィールドマップ>



画像 ©2024 Airbus, CNES / Airbus, Maxar Technologies, 地図データ ©2024 日本



<持ち物リスト>

◎荷物はなるべく自分で準備してみましょう！

◎すべてのものに名前を書きましょう。（下着や靴下、ハンカチ、靴など全て）

持ち物	数量	確認	備考
出発日健康調査票	1		印刷して記入のうえ、当日受付にてご提出ください。（事前説明会で配布します）
財布	1		キャンプ場のシャワーは1回3分200円です。100円硬貨を必要分ご用意ください。空港でお土産を買いたい場合には、2000円程度ご用意ください。
水筒	1		中身が無くなったら大きなタンクからお茶・スポドリを補充できます。
帽子	1		熱中症予防のため必須。ハチ予防のため黒色は避けてください。
ヘッドライト or 懐中電灯	1		夜は暗くなるのでなるべく1人1つお持ちください。
歯磨きセット	1		歯磨きに使用。
長袖・長ズボン・防寒着	2		2日目は森林で活動しますので長ズボン必須です。また山間部のため朝晩は冷え込むことがあります。また特に夕方も虫さされ予防にもなるのであるとよいです。
半そで・短パン	2~3		汗をかいて着替えることもあるので多めに持ってきてください。
下着・くつした	3~4		多めにあると安心です。
パジャマ	0~1		翌日の服を着て寝るのもok、着替えたい子はお持ちください。
ハンドタオル	2~3		汗を拭くときなどに使えます。
バスタオル	0~1		お風呂から出たあとに使います。ハンドタオルでも可。
軍手	1		料理やのこぎりを使う際に使います。
水着	1		川遊びのときに着用。当日服の下に着てきてもok。
化繊のTシャツor ラッシュガード	1		川に入る際、夏の日差しから肌を守るために着た状態で泳ぎます。
ゴーグル	0~1		あると川の中がよく見えます。
かかと付サンダル or マリンシューズ	1		脱げないように必ずかかとが止められるサンダルやマリンシューズをご用意ください。ビーチサンダルや裸足は不可。クロックス等もなるべく避けてください。
レジャーシート	0~1		ご飯を食べるときなどにあると役に立ちます。小さいものでok
常備薬	必要分		必要であれば。出発日健康調査票（事前説明会で配布）でもご報告ください。
虫さされ用塗り薬	1		お子さんが使ったことがあるものをご用意ください。薬局に売っているものでok
虫除けスプレー	0~1		必要であれば、お子さんが使ったことがあるものをご用意ください。
日焼け止め	0~1		必要であればご用意ください。
ビニール袋	3~4		汚れたもの、ぬれたものを入れたり、拾い集めたものを入れるのにも役立ちます。
ハンカチ・ティッシュ	1~3		手洗い後や鼻をかむときなどに使用。
カッパ	0~1		カッパは上下に分かれたものがおすすめです。急な夕立などもあるので晴れ予報でもカッパはご持参ください。
その他必要なもの			虫取り網、水槽、釣り竿、浮き輪など遊びで使いたいものがあれば、飛行機に持ち込めるサイズ内で持参可。（ライフジャケット、釣り竿などはこちらでも用意あり）
ワクワク			お子さま自身が、キャンプしたい！やってみたい！といったワクワクした気持ちで参加してくれるとうれしいです。

◎数量は目安です。必要だと思う分をご用意ください。

◎寝具は寝袋を用意しています。

◎電子ゲーム、マンガ、みんなで遊べないカードゲーム等を持ってくるのはお控えください。

不適切とスタッフが判断したものは、キャンプが終わるまで預かります。

◎安全管理のためサバイバルナイフなどの刃物の持参もお控えください。空港で没収される可能性もあります。のこぎりなど活動に必要な道具は用意しています。

◎キャンプ中は基本的に携帯電話の使用はできません。不要な貴重品の持参はお控えください。

◎キャンプの前に爪を切ってきてください。

◎「何か足りなければ、知恵を絞ってあるものでなんとかする」という考えで活動します。